



力を合わせて冬を乗り切る

厳しい冬を安全に過ごすために

冬の交通を確保するため、市道の除雪作業を行います。作業を安全に、スムーズに進めるには市民の皆さんの協力が欠かせません。力を合わせて帯広の冬を乗り切りましょう。

問い合わせ 道路維持課（南町南6線、☎48・2322）

約1800キロメートルを除雪

市が除雪する車道の距離は約1300キロメートル、歩道も合わせると約1800キロメートルあります。幹線道路や生活道路、歩道など道路の種類に応じて合計266台の除雪車に対応します。

よりスムーズな除雪が行えるよう、皆さんの協力をお願いします。

出動の目安は降雪10〜15センチ

除雪車の出動は、10〜15センチの降雪を目安に、天気予報などを総合的に考慮して判断します。なお、雪質や降雪の時期、路面の状況

態などによっては、降雪があっても出動を見送る場合があります。

作業は夜から朝にかけて行う

除雪作業は通勤・通学に支障がないように、夜間から早朝（おおむね午後8時〜午前6時）に行うことを基本としています（図1）。

雪の量や降雪の時間帯により、午前6時を過ぎても作業を継続することがあります。日中の除雪は、交通渋滞を招き、事故が起こる危険性が高まるため、積雪で交通に大きな支障が生じる場合を除き、行いません。

除雪1回当たりの費用

雪を道路脇にかき分ける、交差点の雪山を撤去する、幹線の道路脇に積まれた雪山を除去する作業を行うと、除雪1回当たりで約1億9400万円かかります。

除雪作業時のお願い

作業を安全、迅速、効果的に行うため、協力をお願いします。

- ▽路上駐車はしない
- 路上駐車している車両があると、除雪作業の遅れやその先の除雪ができなくなる場合があります。
- ▽道路に物を置かない
- 車乗り入れ用の段差解消ブロックなど、除雪作業の妨げとなる物があると除雪に支障が出ます。
- ▽除雪車には近づかない
- 除雪車の周囲は運転手から見えにくく、大変危険です。
- ▽雪を道路や川に捨てない
- 雪を道路に捨てると、凹凸路面ができてスリップ事故の原因になり大変危険です。川に捨てると転落防止柵の破損や川の流れがせき止められるなどの恐れがあります。

除雪車の出動をお知らせします

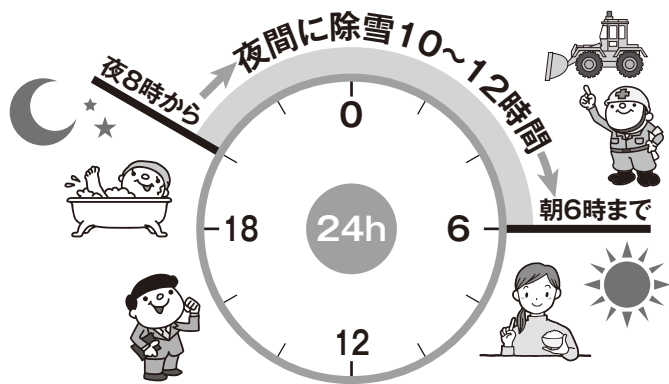
除雪車の出動は、市ホームページやフェイスブック、ツイッターでお知らせするほか、コミュニティFMラジオに情報提供します。

市フェイスブック

市ツイッター

QRコードで簡単アクセス

図1 除雪を行う時間帯



▽玄関・車庫前の除雪は各家庭で除雪により、玄関前や車庫前に

寄せられた雪は、各家庭で除雪していただくようお願いいたします。



寄せられた雪を除雪（イメージ）

▽不要不急の問い合わせは日中に
夜間の除雪作業中に問い合わせが集中すると、作業の遅れにつながります。不要不急の問い合わせは、日中をお願いします。

町内会への「パートナーシップ助成制度」を活用ください

町内会と市が役割分担して生活道路の除排雪を行う仕組みです。希望する町内会を対象に、小型除雪機械購入補助など、除排雪に掛かった経費の半額（条件などあり）を助成します。申請期間や申し込みなど詳細は、道路維持課へ問い合わせください。

除雪作業の問い合わせは区域の除雪センターへ

市内を7つの地区に分け、除雪センターを設置しています。（図2）

市道の除雪は、各地区の除雪センターへ問い合わせください。

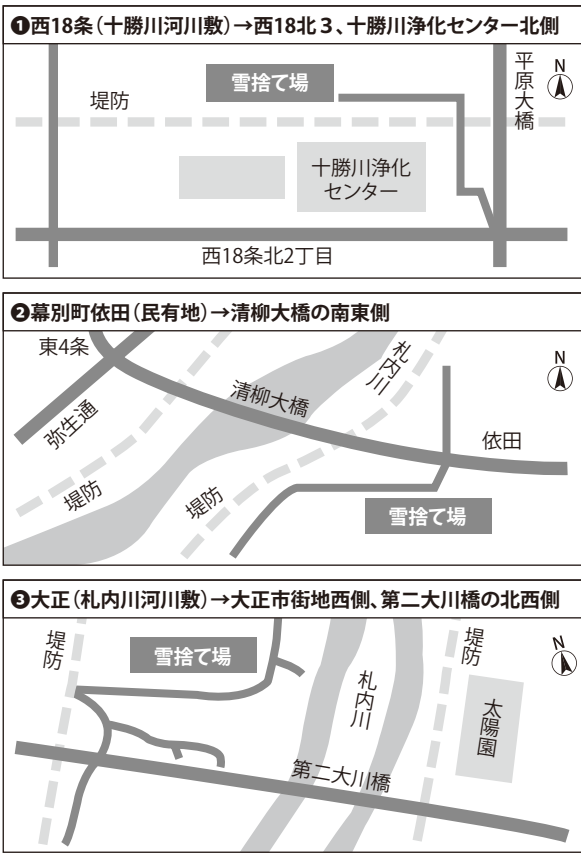
受付時間 月〜金曜日、9時〜17時
設置期間 平成29年3月31日（金）まで
（4月以降の降雪は、道路維持課へ問い合わせください）

- ① 東部地区 ☎23・2017
- ② 北部地区 ☎37・2054

図2 除雪センター区域図



図3 雪捨て場位置図



雪捨て場を 利用してください

除排雪で出た雪を無料で持ち込むことができます。（図3）
開設期間 平成29年3月31日（金）まで

道道の除雪
十勝総合振興局帯広建設管理部
事業室事業課施設保全室
☎27・8727

- ③ 中央部地区 ☎33・2002
 - ④ 西部地区 ☎34・2003
 - ⑤ 南部地区 ☎47・3014
 - ⑥ 川西地区 ☎23・2037
 - ⑦ 大正地区 ☎23・2036
- 国道と道道の除雪の問い合わせ先
国道の除雪
帯広開発建設部帯広道路事務所
☎25・1250

道路の種類

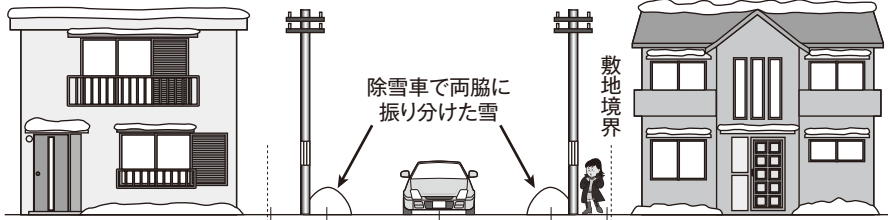


市内にある道路の距離

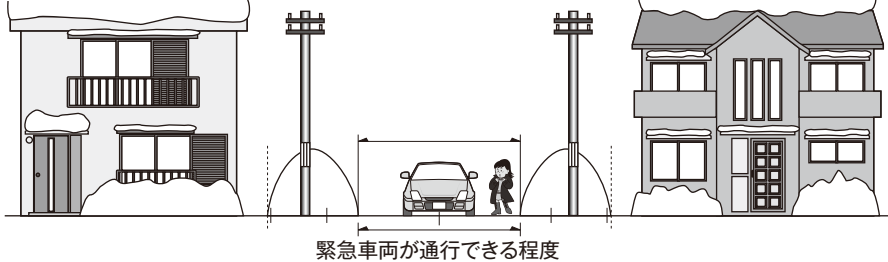
- 国道(主要幹線) 56キロメートル→国が除雪
- 道道(主要幹線など) 143キロメートル→北海道が除雪
- 市道(幹線・補助幹線・生活道路) 1350キロメートル→帯広市が除雪

図4 生活道路のイメージ

【雪が少ない時期】



【雪が多い時期】



除雪に関するご意見で多いもの

1位	除雪のやり方が悪い	1075件
2位	早く除雪してほしい	687件
3位	雪山で見通しが悪い	163件

その他含む 合計 2157件

※平成27年度実績

よくある除雪の意見・質問

例年、除雪作業に関するご意見が多く寄せられます。特に多い意見と、市の考え方を紹介します。

◆家の前が除雪されていません(生活道路沿いに住んでいる人)
生活道路の除雪は、雪を道路の両脇に振り分けるだけのため、除雪のたびに道路幅が狭くなり、雪山が積み上がるなど道路状況が悪化しやすくなります。このため、すでに圧雪状態で走行が可能な路面状況であれば、降雪量が出動の目安に達しても、生活道路の除雪を見合わせる場合があります。

◆除雪業者によって仕上がりに差があるので指導してください
通行に支障をおよぼすことのないよう除雪を行います。路面の凹凸の状況や運転の熟練度によって、仕上がりに差がでてきます。巡回パトロールの後、除雪の仕上がりがよくない場所がある場合は



排土板

◆雪を積もる指示をします。
◆土板を下げて除雪してください
排土板を下げるだけで除雪を行います。生活道路の除雪はマンホールなどの凹凸があつて危険なため、路面ぎりぎりまで下げることができない場合があります。

疲れにくい雪かきのコツ

～スコップの持ち方で体にかかる負担を軽減～

利き手でスコップの持ち手を握り、反対の手で柄を握ります。このとき、反対の手は、手の平を下に向けて柄を握ります。手の平を上に向けて握ると腕の力を多く使いますが、手の平を下に向けて握ると、全身の力で雪を投げられるので、腕への負担も少なくて済みます。



手の平を下に向けて柄を握る

吹雪や大雪のときに自動車以外出する際の備え

～立ち往生したときのことも考える～

◇車内に用意しておきたいもの

防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープ。万一に備えて飲料水、非常食、使い捨てカイロ。十分な燃料があるかも確認。



◇排気パイプ(マフラー) 周りを定期的に除雪

車が立ち往生した時に救助を求められる人家が周りにない場合は、119番か110番通報する。車のマフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流して、一酸化炭素中毒で命を落とす危険があるので、マフラー周りを定期的に除雪し、窓を少し開けて換気しながら救助を待つ。車を置いて避難する場合は、連絡先を書いたメモを車内に置き、車の鍵は付けたままにしておく。



◆除雪車で寄せる雪は左右均等にしてください
できるだけ均等に除雪を行います。生活道路は出入りの関係で、場所によっては片側によらざるを得ないところもあります。

◆施設帯に雪をおかないでください
生活道路には場所によって幅1メートル前後の施設帯があります(図4)。これは電柱や各種ポール、の建柱場所として設けられています。冬期間は、雪の堆積場所になるので、ご理解ください。

◆除雪体制を強化できませんか
除雪車両と運転手の数が減少している、確保が難しくなっています。現在の体制を維持し、効果的、効率的な除雪に努めます。

◆(大雪のとき)もっと早く除雪できませんか
市で確保している除雪車両は、1度の降雪が20センチ程度までを12時間ほどかけて除雪する台数です。30センチを超える降雪がある場合、2回以上は除雪しなければなりません。また、積雪量の増加に伴い、車の立ち往生も増えるため、

◆除雪の順序を変えられませんか(希望の時間に除雪してほしい)
除雪の順序を変えると、夜間の作業で周囲の状況が把握しづらくなり、作業の安全性の低下や、除雪の遅れ、除雪忘れが起きる恐れがあります。このため、各地区の除雪センターで効率的な除雪が行えるように、事前に順序を決めていて、変更することはできませんので、ご理解ください。

◆除雪に通常より時間がかかります。天気予報をこまめに確認し、車の外出を控えるなど、除雪作業への協力をお願いします。